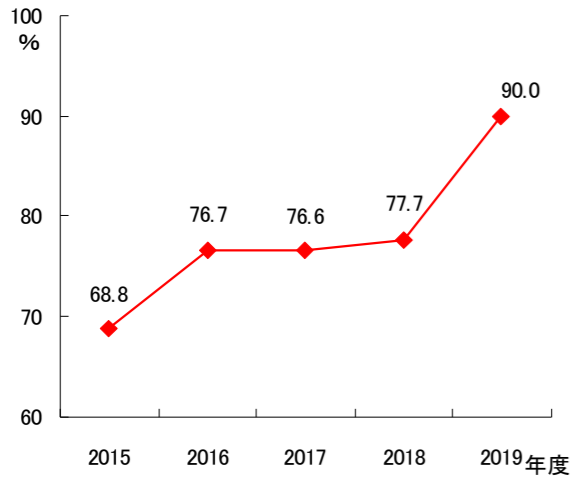


テーマ5 女性の活躍推進

第3期実践計画では、2017年2月に策定された女性活躍推進計画を実践計画の一部として位置付け、女性の職業生活における活躍に関する施策を着実に推進していくこととします。

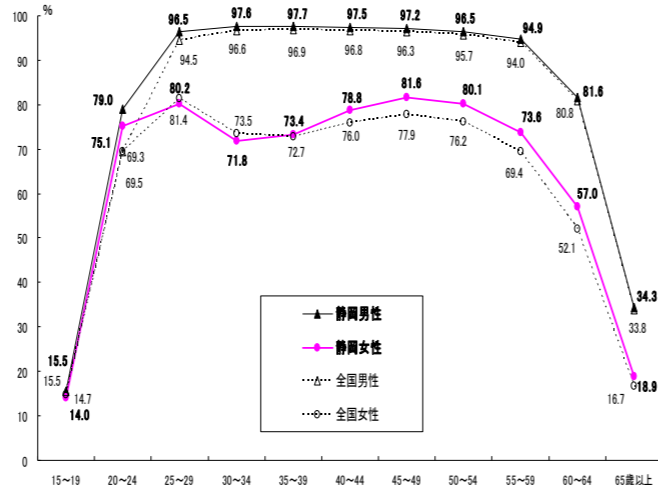
仕事と子育て(介護)の両立支援・職場環境づくりに取り組んでいる企業の割合



資料: 県労働政策課調べ

★仕事と子育て(介護)の両立支援・職場環境づくりに取り組んでいる企業の割合は、昨年度に比べて増加しました。

年齢階級別労働力率の推移(全国・県)



資料: 国勢調査(2015)

★女性の年齢階級別労働力率は、20代後半～30代前半を除いた年齢層で全国より高い状況です。

男女共同参画の視点で見る



しずおかのデータ

2分で読める!

静岡県男女共同参画白書(令和元年度版)ダイジェスト

～誰もが個性を活かし能力を発揮できる理想郷“ふじのくに”を目指して～

職場では

男女が共に継続して能力を発揮でき、ワーク・ライフ・バランスが実現した働きやすい職場環境が人々を活性化させ、企業活動も活発になっています。



学校では

子ども達はお互いの個性を尊重し協力し合うとともに、自らの生き方、能力、適性を考え、主体的に進路や職業を選択する能力・態度が身についています。

多様な生き方が尊重され、性別による固定的な役割分担意識にとらわれることなく誰もが主体性と責任感を持って様々な活動に参画し、個性を活かし能力を発揮することができる、暮らしやすい社会が実現しています。

家庭では

男女が共に、仕事と家庭での生活のバランスをとりながら、子育てや介護等に主体的に参画できる生き方が実現しています。



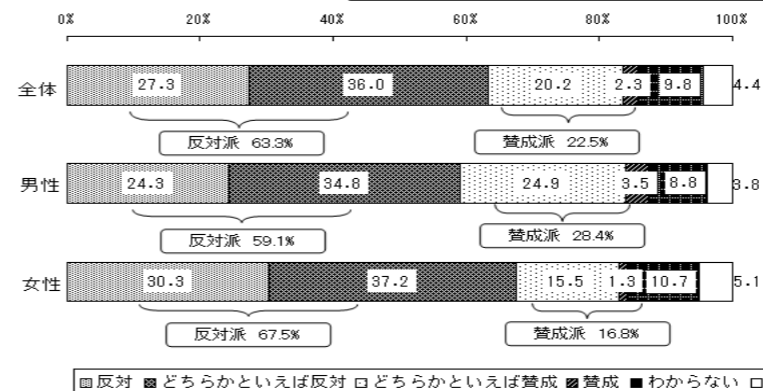
地域では

多様な価値観に基づき、地域活動、ボランティアなどの様々な活動や、コミュニケーションが充実し、誰もが地域の一員としての暮らしやすさを実感しています。



県では、「あらゆる分野で女性が活躍できる環境の整備」を実践目標に掲げ、2018年度からの3年間で重点的に推進する5つのテーマを設定して、女性が持つ力が活かされるための環境整備を集中的に取り組んでいます。このパンフレットでは、5つの重点テーマ毎に県の現状をご紹介します。

固定的役割分担意識に反対する人*の割合



★固定的役割分担に反対する人の割合は全体と女性は6割を超えています。

*「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方に「反対」、「どちらかといえば反対」と答えた人

資料: 静岡県の男女共同参画に関する県民意識調査(2019)



女性活躍推進のための
ネットワーク組織
ふじのくに
女性活躍応援会議

令和元年度 登録件数

参加者募集中! 191件

(2020年2月末現在)

このネットワークは、女性活躍の推進に取り組む企業、団体、個人等が構成員となり、女性活躍に関する情報交換や情報発信を行うとともに、県との共催で事業を行うなど、連携・協働して県内の女性活躍をすすめるための組織です。ホームページにおいて、応援会議の概要や事業等の紹介・報告、参加企業の取組事例の紹介、女性活躍に関する講座・セミナー情報、女性活躍の支援情報を総合的に情報発信しています。

検索はこちら <https://www.azarea-navi.jp/joseikatsuyaku/>

「男女共同参画社会づくり宣言」推進事業

事業所や団体等が、ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)の推進や女性の参画拡大などに取り組むことにより、誰もがその個性と能力を十分に発揮できる就業環境の整備等が促進されることを目的に、男女共同参画社会づくりへの取り組みを支援する事業です。

令和元年度 登録件数 **1,608件** (2020年2月末現在)

静岡県男女共同参画ポータルサイト

あざれあナビ

あなたのくらしに役立つ情報が満載です!

あざれあナビ

検索はこちら <https://www.azarea-navi.jp>

Shizuoka Prefecture

お問い合わせは
静岡県くらし・環境部
県民生活局 男女共同参画課
〒420-8601
静岡県静岡市葵区追手町9番6号
TEL 054-221-3363 FAX 054-221-2941
E-mail danjo@pref.shizuoka.lg.jp

ホームページ
<https://www.pref.shizuoka.jp/kenmin/km-150/danjo1.html>
*その他たくさんのデータをホームページで紹介しています。

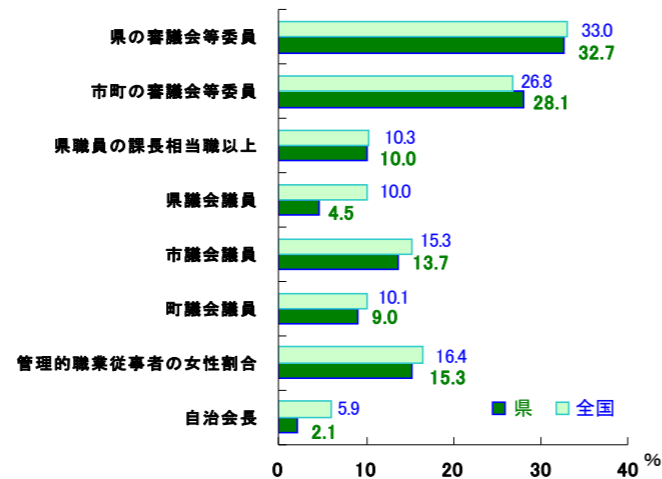
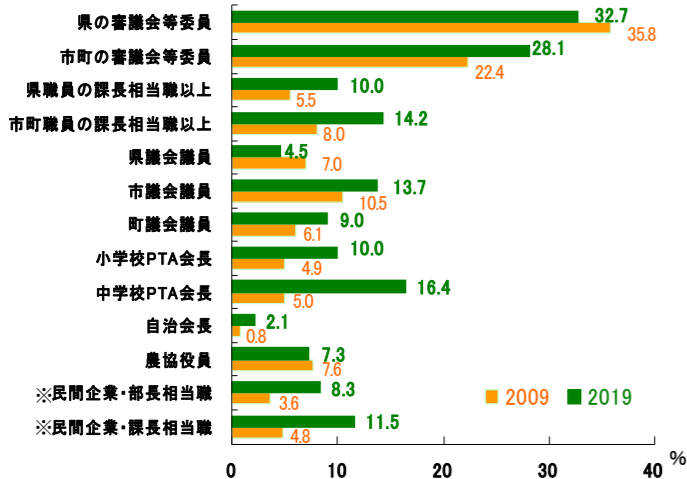
令和2年3月発行

テーマ1 政策や方針の決定の場における女性の参画拡大

静岡県内の各分野における女性が占める割合

10年前との比較

国との比較 (2018年度)



※2008年と2018年の数値

資料: 県男女共同参画課調べ・静岡県雇用管理状況調査結果報告書

資料: 内閣府「地方公共団体における男女共同参画の形成又は女性に関する施策の推進状況調査」(令和元年度)

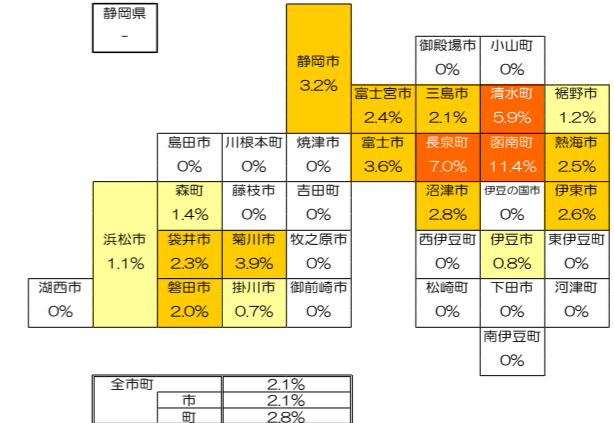
★この10年間で各分野での女性比率は高まっているものの、全国平均と比べ女性の参画は、進展が十分とはいえない状況にあります。

テーマ3 男女共同参画推進による地域力の強化

市町の自治会長に占める女性の割合

市町名	自治会長の状況			女性比率
	自治会長数	女性自治会長数	女性比率	
函南町	35	4	11.4%	5%以上 3団体
長泉町	43	3	7.0%	
清水町	17	1	5.9%	
掛川市	128	5	3.9%	2%以上5%未満 10団体
富士市	388	14	3.6%	
静岡市	955	31	3.2%	
沼津市	290	8	2.8%	
伊東市	154	4	2.6%	
熱海市	81	2	2.5%	
富士宮市	127	3	2.4%	
袋井市	174	4	2.3%	
三島市	144	3	2.1%	
磐田市	305	6	2.0%	
森町	70	1	1.4%	0.1%以上2%未満 6団体
裾野市	85	1	1.2%	
浜松市	738	8	1.1%	
伊豆市	129	1	0.8%	
掛川市	284	2	0.7%	
島田市	68	0	0.0%	
焼津市	38	0	0.0%	
藤枝市	52	0	0.0%	
御殿場市	59	0	0.0%	
下田市	40	0	0.0%	
湖西市	41	0	0.0%	
御前崎市	33	0	0.0%	
伊豆の国市	51	0	0.0%	
牧之原市	77	0	0.0%	
東伊豆町	9	0	0.0%	
河津町	1	0	0.0%	
南伊豆町	34	0	0.0%	
松崎町	35	0	0.0%	
西伊豆町	4	0	0.0%	
小山町	40	0	0.0%	
吉田町	4	0	0.0%	
川根本町	34	0	0.0%	
合計	4,767	101	2.1%	

2019年4月1日現在



※備考: 内閣府「地方公共団体における男女共同参画社会の形成又は女性に関する施策の推進状況調査」(令和元年度)に基づき作成。

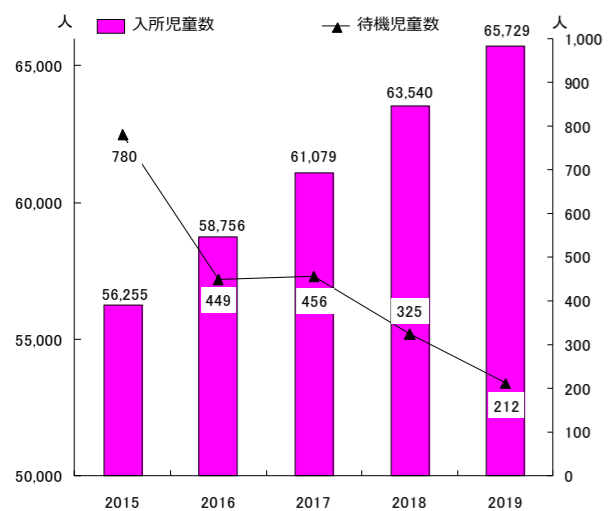
★白書ではその他、市町議会議員・審議会等委員・防災会議・公務員管理職・PTA会長に占める女性の割合等のマップを掲載しています。

★市町の自治会長の割合は、市町によって差異がある状況です。

テーマ2 男女双方にとってのワーク・ライフ・バランスの実現

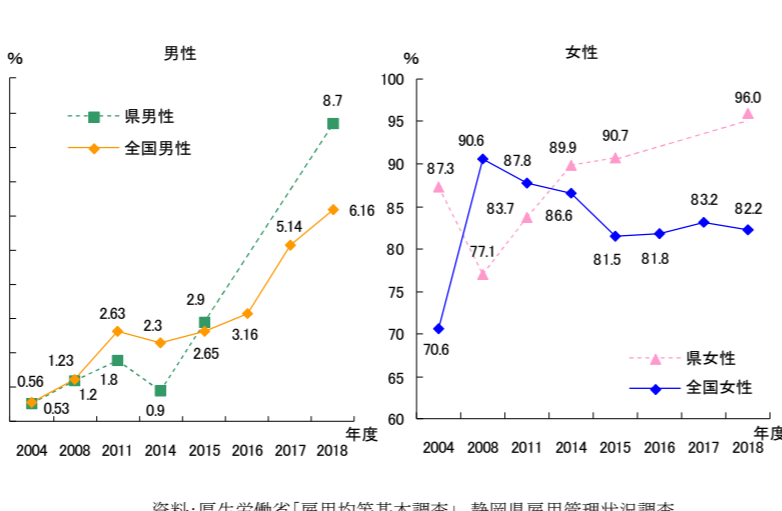
保育所等の待機児童数

男女別育児休業取得率



資料: 厚生労働省「保育所等利用待機児童数調査、県子ども未来課調べ

★保育所等の待機児童数は、昨年度に比べて113人減少し、過去5年間で一番低くなっている状況です。



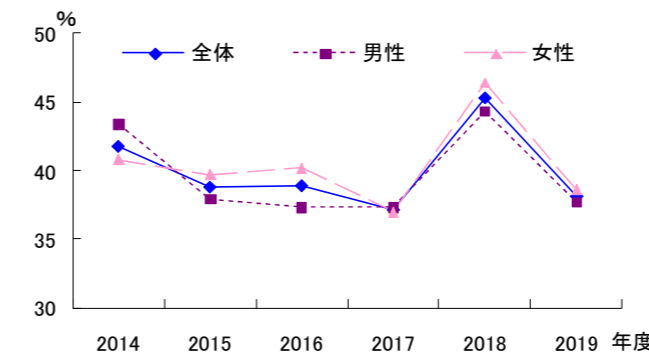
資料: 厚生労働省「雇用均等基本調査」、静岡県雇用管理状況調査

★育児休業は2015年に男性の取得率が増加しましたが、依然女性の取得が高く、男性が低い状況です。

テーマ4 生活上の困難や男女間の暴力に関する課題への対応

「人権尊重の意識が生活の中に定着した住みよい県になっている」と感じる人の割合

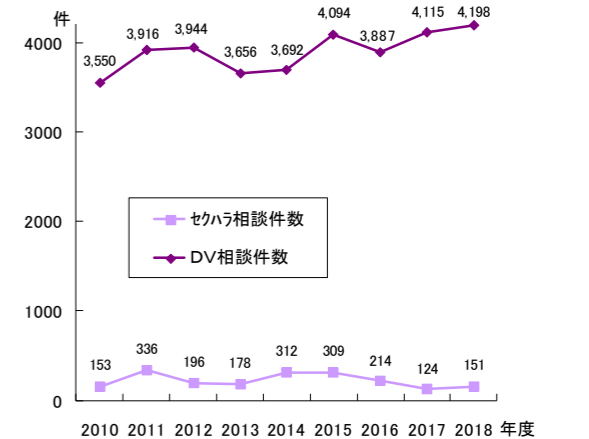
DV・セクハラ相談件数の推移(県)



	2015	2016	2017	2018	2019
全体	38.8	38.9	37.1	45.3	38.1
男性	37.9	37.3	37.3	44.3	37.7
女性	39.7	40.2	37.0	46.4	38.6

資料: 県民意識調査及び県政世論調査

★人権尊重の意識が生活の中に定着した住みやすい県になっている」と感じる人の割合は、昨年度に比べて減少しました。



資料: (DV相談件数) 県男女共同参画課調べ (セクハラ相談件数) 静岡労働局雇用環境・均等室調べ
注: DV相談件数は県男女共同参画センターと県女性相談センター及び県内市女性相談窓口における、DVに関する相談件数の合計

★配偶者等からの暴力ドメスティック・バイオレンス(DV)に関する相談件数とセクシュアル・ハラスメント(セクハラ)の相談件数は、昨年度に比べて増加しました。